

科目名 Course Name	金融と証券 Money and Securities Markets						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2 単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	本授業は、金融の意義を概観した後、金融政策における金融の機能や景気変動と金利、物価、為替の関係を学び、金融機関の種類と金融資産投資としての金融商品の種類を学習する。ファイナンシャルプランナー資格取得を目指す受講者には、試験対策の学習も行う。 ①金融・証券市場における金利・為替・景気の間関係を説明できるようにする。 ②貯蓄型金融商品を理解して投資目的に合った金融商品の説明ができるようにする。 ③債券投資・株式投資の内容と特徴を説明できるようにする。						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、金融と証券に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①金融・証券市場における金利・為替・景気の間関係を説明できる。 ②貯蓄型金融商品を理解して投資目的に合った金融商品の説明ができる。 ③債券投資・株式投資の内容と特徴を説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[金融・証券論 2020 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:40 年)、実務経験を金融と証券の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	S のレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	S のレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	社会における経済活動と金融の意義。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	経済社会における金融の役割。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	金融市場における金融機関と資金の流れ/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	経済政策と金融市場。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	マーケットの変動とその要因①(景気と金利・物価)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	マーケットの変動とその要因②(景気と為替)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	金融機関①(金融機関の役割とその業界)/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	金融機関②(金融機関の種類)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	金融資産投資①(金融商品投資の予備知識)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	金融資産投資②(預金)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	金融資産投資③(株式)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	金融資産投資⑤(債券)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	債券投資②(投資信託 9/(グループワークによるプレゼンとディスカッション③))。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	ポートフォリオとデリバティブ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

